



ありが隊新聞



5月の活動報告

山本亜矢

【お茶摘み】

人生初めての茶摘みでしたが、とても新鮮で楽しかったです。目の前の茶葉をひたすら摘んでいくのは無意識に無心になれるので、好きな作業だなと感じました。はじめは恐る恐るやっていきましたが、だんだんと目も慣れてきてスムーズに手が動かせるようになりました。「自分が摘んだ」ということも相まって、出来上がった一番茶は一段とおいしく感じました。南信濃の製茶工場にもお邪魔させてもらい、中井侍とはまた違う形状の茶葉を見ることもできました。実際に機械が動いている様子を拝見でき、生葉がお茶として飲めるようになるまでたくさんの工程を経ていることが改めて実感できました。



【農林業公社にて】

4月下旬に定植したズッキーニが収穫できました。お茶摘みに夢中だったので、成長過程はあまり見ることもできませんでした。立派に育ってくれて嬉しいですね。あまり自分にはなじみのなかった野菜ですが、片栗粉をまぶして揚げたらナスみたいなトロトロ食感になってとても美味しかったです。

活動報告

於保 美里

○ご報告

私事ではありますが、今月、同じく協力隊の於保樹さんと入籍しました。たくさんのお祝いの言葉を掛けていただきありがとうございます。まだまだ一人前には程遠い二人ですが、精いっぱい天龍村で頑張っていきたいと思います。ビシバシ鍛えて頂けると嬉しいです。これから私は、仕事でも苗字を変えて活動していきます。渡邊で覚えてくださった方には申し訳ありませんが、これからもよろしくお願ひ致します。

○田んぼ

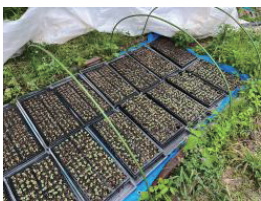
今年は七枚の田んぼをお借りしてお米を育てているのですが、田んぼ周りの草刈が想像以上に大変で驚いています。早く草刈り機の操作に慣れなければ！また、草を刈れずにいた田んぼが鹿の被害に遭い、半分くらいの稲が食べられてしまいました。まだギリギリお米は収穫できそうとのことでしたが、急いで対策をしなければいけないですね。とりあえず、一気に草刈りをしました。

○畑

エゴマの育苗がおおむね順調で、来週には定植できそうです。畑はトラクターで耕していただいたので準備万端。エゴマの他には、大豆とかぼちゃの苗が植え時になってきました。畑はたくさん貸してもらっているの、しっかりと野菜を育てていきたいです。地域の方々に助けられ、見守っていただいて何とか時期ごとの畑仕事に食らいつつあります。日々、感謝です。

○ブルーベリー

例年より一週間ほど収穫が遅れていますが、だんだんと収穫量が増えてきました。まずは、満島屋とゆとりに出荷する予定です。ぜひ購入して旬の味を味わって頂けたらと思います。



↑エゴマの苗



↑エゴマを植える畑



↑収穫が始まったブルーベリー

●循環型農業で地域内自給をめざす

梅雨の候、いかがおすごしでしょうか。じめっとしている日はなんだか身体が重くなりますが、この梅雨の雨量こそが作物を多く実らせる、日本の大事な気候。だからこそ、梅雨を快適に過ごせるよう、あえて隙間があり、縁側がある家屋であり、すだれや風鈴といった涼しさを感じる小物が使われてきたのです。時代は変われど、ハンディ扇風機でなく扇子を使うような風情を持ち合わせていたのです。

さて、天龍村村内、あちこちの畑で、夏野菜の作付けされた風景が見られるようになりましたね。私もていざなすや雑穀を定植しました。

今回は新たな試みとして、南信で生まれた肥料を使うことに（内藤有香さん、福士ゆうかさんご縁がありがとうございました）。飯田市にオープンしたばかりの「プラスイチド」という、酵素風呂（米ぬかとヒノキのくず粉を混ぜた発酵床に身体を埋めて体温を上げること、身体の新陳代謝をよくしていくという美容健康法）のサロンの方から、この発酵床を使用後、廃棄してしまうのではなく、天龍村の農業で活用できないかとお相談があり、ぜひ、とお受けしました。肥料まきではスタッフさんがわいわいと来てくださり、楽しく作業。今後、ていざなすの収穫にもお越しいただき、循環型農業を体験していただけたら嬉しいです。

新津史乃さん、
遠山奈菜先生と
ていざなす定植

プラスイチドの
皆さんと肥料まき



天龍小学校や下伊那農業高校でもていざなすなどの天龍村の伝統野菜の作付けを生徒さんで行いました。どのように栽培し収穫できるのか、さらに、種をとるところまでを一緒にできたらと思っています。

農業の喜びというのは、農産物を育てて売って対価を得ることではなく、自ら育て、収穫したものをおいしく食し、出来た作物の種をとり来年へつないでいく、ということが一連で成し得たときに真に感じられるのではないのでしょうか。南信州伝統野菜協議会では今年もファーマーズマーケットを開催していきます。伝統野菜を通じて、お客様と食の大切さを考える機会にもなればと思っています。

於保樹の活動報告

お疲れ様です。

私事ではありますが、今年6月に同じく天龍村地域おこし協力隊である、渡邊美里さんと入籍しました。

地区の方々含め、多くの方々からお祝いの言葉をいただき嬉しい気持ちでいっぱいです。ありがとうございます！今後も、夫婦で協力し合い、天龍村を拠点に林業・農業など一次産業を軸に活動していきますのでどうか見守っていただけると幸いです。今後ともよろしくお願い致します。

林業

6月初旬より村内の間伐の現場に入らせていただいています。伐倒はもちろんのこと、道づくりや搬出作業、土場作りも行います。伐倒に関しては、「倒せるとここに倒すしかない」ことを基本とし、倒しやすいように列状に切ること、切る順番、搬出・造材のしやすさなど考えるべきことが多い、難易度が高いですね。一つのミスも命取りなので緊張します。

「視野を広く持ち流れを考える」

とにかく視野が狭く、どの作業においても声を掛けられないと気付かないことがしばしば。常に周りを見て音や相手の動きをイメージしながら5感を意識しながら作業すること。

元々、視野が狭く夢中になってしまいうことがあるので意識しないとないも変わらない。やるしかない！

一刻も早く山師の体になるため日々山に入りたいですね。精進精進！！



土場作り



間伐様子